



ふくしま教育ニュース

2019年11月 第53号 編集・発行 福島県教育委員会

農業系高等学校の挑戦！認証GAP取得学校数 全国一！

県教育委員会では、GAP(ギャップ)教育を推進しています。今年5月にGAPを取得した学校数が10校となり、認証GAP取得学校数で全国1位となりました。

先進県の生徒と交流を行いました

訪問先 三重県立久居農林高等学校他2校

実施期間 8月26日～28日

派遣生徒 16名

岩瀬農業高等学校、白河実業高等学校、
小野高等学校、会津農林高等学校、
相馬農業高等学校



【三重県立相可高等学校
(松阪牛：JGAP認証取得)訪問】
*JGAP:日本独自のGAP認証



【三重県の農業高校生と交流意見交換会】

訪問先 青森県立五所川原農林高等学校

実施期間 9月17日～19日

派遣生徒 16名

福島明成高等学校、安達東高等学校、
修明高等学校、耶麻農業高等学校、
磐城農業高等学校



【青森県立五所川原農林高等学校
(リンゴ：GLOBALG.A.P認証取得)訪問】
*GLOBALG.A.P:国際的なGAP認証



【青森県の農業高校生との交流意見交換会】

訪問団は、両県の認証農場の施設設備やGAP認証公開審査会の視察、成果発表・意見交換などの交流を通して、生徒が主体的に取り組む優れた農場管理の手法や新しい時代に求められる経営感覚を学びました。

今後、各農業系高等学校は、来年のオリンピック・パラリンピックへの食材提供やホストタウンとの連携事業に向けた特色ある取組も進めていきます。

*GAP(Good Agricultural Practice:農業生産工程管理)とは、農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取組のことです。

県立聴覚支援学校福島校の新校舎が完成しました

施設の老朽化により建設を進めていた福島県立聴覚支援学校福島校の新校舎が完成しました。令和元年9月2日(月)に行われた新校舎落成式では、鈴木教育長から幼児児童や保護者に対し、「皆さんが喜ぶ様子を見て大変うれしく思います。新校舎での学習を頑張りましょう。」と励ましの言葉がありました。

新校舎には、大型のモニターが設置され、校内放送や緊急情報等を文字や映像で視覚的に伝達できるシステムを県内の特別支援学校で初めて導入するとともに、音声を補聴器に直接伝達し、共有できる集団補聴システムも完備されています。

今後も、子どもたちの夢の実現を後押しできるよう、一人一人のニーズに応じた支援を切れ目なく行ってまいります。



福島県算数・数学ジュニアオリンピック

10月20日(日)、小学校5・6年生及び中学校1～3年生を対象に、県内7会場で、「福島県算数・数学ジュニアオリンピック」を開催しました。算数・数学ジュニアオリンピックは、論理的に考えたり、発想力を生かしたりして解決する問題にチャレンジして、さらなる学習意欲と課題解決能力の向上を図るとともに、次世代を担う人材の育成を目指して実施しています。

8回目の開催となり、徐々に参加者が増えています。今年度は台風の影響があったにもかかわらず、1,174名が挑戦しました。今年度実施した問題も含め、これまでの問題は義務教育課のホームページに掲載していますので、ご活用ください。

なお、今回の成績上位者(金及び銀メダリスト)を、1泊2日(12月14日、15日)の先端技術体験にご招待します。福島イノベーション・コースト構想関連の先端技術を有する県内企業、大学や首都圏の関係機関等での体験活動に参加することを通して、科学技術に対する意識の向上を図っていきます。

参加者の声

- 「おもしろい問題がたくさんあって、やり応えがあった。」
- 「難しかったけど、解けたときはうれしかった。」



【福島県算数・数学ジュニアオリンピック(今年度)】



【先端技術体験(昨年度)】

福島県算数・数学ジュニアオリンピック

検索

第7回

科学の甲子園ジュニア福島県大会

科学の甲子園ジュニア福島県大会は、中学1・2年生を対象に、科学を学ぶことの意義を実感できる場を提供することによって、科学好きの裾野を広げるとともに、未知の分野に挑戦する探究心や創造性に優れた人材を育成することを目的とし、1チーム3名編成の団体競技で実施しています。

8月6日(火)、福島大学において開催した福島県大会は、県内の中学校11校から過去最高の39チーム(117名)が参加し、理科・数学等の複数分野からなる筆記競技で競い合いました。上位2チームは、福島県代表合同チームとして、12月6日～8日に茨城県つくば市で開催される全国大会に出場する予定です。

次年度も、たくさんの中学生の参加をお待ちしています。



【開会式】

第7回

特別支援学校作業技能大会～夢に向かってテクノチャレンジ2019～

8月2日(金)、ビッグパレットふくしまにおいて、全ての県立特別支援学校、福島市立福島養護学校、福島大学附属特別支援学校の18校が一堂に会して、「特別支援学校作業技能大会」を開催しました。本大会は、作業技能検定部門、作業製品品評部門、あん摩・マッサージのデモンストレーション部門の3部門があり、約390名の生徒が、県民の皆様をはじめ、家族、企業関係者、福祉関係者等の前で学習の成果を披露しました。

7回目を迎えた本大会は、多くの皆様に応援していただけた大会に成長し、入場者数も過去最高を記録しました。大会はもちろん、各学校を紹介する展示ブースも大いに賑わいました。



【パソコンデータ入力部門】



【作業製品品評部門】

オリンピック・パラリンピック教育推進事業

オリンピック・パラリンピック教育推進事業は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした教育を推進し、スポーツの意義や価値などへの理解・関心を高め、障がい者を含めた多くの人たちが、生涯を通じて主体的にスポーツに参画することができるようにすることを主な目的としています。本事業を通して、国際的な視野を持って世界の平和に向けて貢献できる人材を育成するとともに、ふくしまの誇りを醸成し、その後の人生の糧となるような無形のレガシーを子どもたち一人一人の心と体に残していけるよう支援しています。今年度は、県内の小・中学校、高等学校、特別支援学校合わせて50校を推進校として事業を展開し、これらの取組を中心に県内全体の機運醸成を図っています。

オリンピック・パラリンピック教育推進校における取組の一部をご紹介します。

吉井田オリンピック（大運動会）

実施校 福島市立吉井田小学校

実施日 5月25日(土)

児童会の子どもたちが中心となり、運動会を盛り上げるための模擬聖火台や聖火のめあてカードを考案しました。当日は、全校でダンスを踊り、地域にオリンピック・パラリンピックをアピールしました。



*「東京2020みんなのスポーツフェスティバル(春)」(主催 東京2020組織委員会 他)において、優秀賞・日本スポーツ協会賞を受賞しました。

オリンピックによるパネルディスカッション

講師 北京オリンピック男子マラソン日本代表 佐藤 敦之 氏(会津若松市出身)

会場 猪苗代町立猪苗代中学校

対象 猪苗代町内の中学校(猪苗代、吾妻、東)の全校生徒約320名

実施日 9月17日(火)



佐藤さんが「今できるベストを尽くすこと」、「失敗を恐れず、夢に向かってチャレンジし続けること」の大切さなどを、自身の経験を踏まえながら伝えたことで、感動のあまり生徒が涙しながら聞き入る場面も見られました。

今後も各推進校を中心に、オリンピック・パラリンピアンによる講演会や実技指導、おもてなし精神、国際・異文化理解や共生社会への理解を深める活動、推進校間による連携・協力など多岐にわたり、創意工夫をしながら事業を推進してまいります。



「県庁にみんなの声を届けよう！」プロジェクト

8月1日(木)、福島市において、「県庁にみんなの声を届けよう！」プロジェクトを開催しました。参加した小学5・6年生21名が、パラリンピック競技種目であるボッチャを体験し、パラリンピック銅メダリストの講話を聞きました。その後、「オリンピック・パラリンピックとふくしまの『スポーツ』・『おもてなし』・『バリアフリー』・『未来』」をテーマとした4グループに分かれ、活発に意見交換をし、グループごとにまとめたアイデアや提言を、参加者全員が、内堀知事や鈴木教育長・教育委員の前で発表しました。テーマごとのアイデアあふれる様々な発想が県庁に届けられました。



【ボッチャ体験】



【グループワーク】



【意見発表】

令和2年度入試(現在の中学3年生)から

県立高等学校の入試制度が変わります

令和2年度入試(現在の中学3年生)から、従来のⅠ期、Ⅱ期選抜を統合した前期選抜(特色選抜、一般選抜)と連携型選抜を3月上旬に、また従来のⅢ期選抜と同様の選抜を後期選抜として3月下旬にそれぞれ実施します。

(1) 県立高等学校 前期選抜(特色選抜、一般選抜)・連携型選抜

出願書類提出	令和2年2月6日(木)~2月12日(水)
出願先変更	同 2月13日(木)~2月17日(月)
学力検査	同 3月4日(水)
面接等	同 3月4日(水)~3月6日(金)
追検査等	同 3月11日(水)
合格発表	同 3月16日(月)

(2) 県立高等学校 後期選抜

※前期選抜及び連携型選抜により定員を充足しない学校・学科で実施します。

出願書類提出	令和2年3月17日(火)~3月18日(水)
出願先変更	同 3月19日(木)
面接等	同 3月24日(火)
合格発表	同 3月25日(水)

福島県 令和2年度高校入試

検索

令和2年4月より 全ての県立学校に、統合型校務支援システムを導入します!

福島県では、情報セキュリティの向上はもとより、教職員の多忙化を解消し、大学入試改革に伴う調査書の電子化への対応等を図るため、学習成績を含む児童生徒の個人情報等を一元的に管理するシステムを導入します。

「統合型校務支援システム」とは?

統合型校務支援システムとは、教務機能(生徒情報管理、出欠管理、成績処理等)、保健機能(健康診断票、保健室来室記録等)、学籍機能(指導要録等)などを統合した、教職員が様々な学校業務を効率的に処理するために活用するシステムです。

導入する学校は?

全ての県立学校に導入します。具体的には、県立の高等学校(全日制・定時制・通信制)及び県立特別支援学校、県立中学校です。

導入することのメリットは?

この情報システムを利用することにより、学校で取り扱う情報やデータの一元管理や共有が可能になるとともに、教職員の業務負担を軽減することも可能となります。統合型校務支援システムは、学校運営を支える情報基盤となります。

相談窓口のお知らせ

いじめ、不登校、体罰などの様々なお悩みに対する相談窓口を開設しています。一人で悩まず、お電話ください。悩みを抱えているお子さんや保護者の方が対象です。

〈いじめ問題や不登校、体罰などの教育相談電話〉月~金 10:00~17:00

「ダイヤルSOS」

0120-453-141

〈子どものための24時間電話相談〉24時間いつでも電話できます。

「ふくしま24時間子どもSOS」

0120-916-024

※県教育委員会ではHP等の掲載広告を募集しています。詳しくは

福島県教育委員会 広告

検索

ここから下の段は広告です。掲載の広告は県教育委員会の事業とは関係ありません。

こども1型 月掛金 **1,000円**お申し込みは **0歳~満17歳の健康なお子様**保障期間は **0歳~18歳まで**

ケガの通院を1日目から保障

1日 **2,000円** 当たり

手頃な掛金でケガの通院や、ケガ・病気の入院、第三者への損害賠償など幅広く対応します。

ここでは制度の概要を記載しています。くわしい保障内容については県民共済までお問い合わせください。

こんな時にお役に立ちます ※こども1型の場合

体育の授業中にボールを取り損ね突き指をし、2日通院した。

通院1日当たり 通院日数

2,000円×2日=4,000円

※上記はお支払いの一例です。同様な事例の場合でも、加入コース、事故の状況、治療内容等によりお支払い金額が異なります。



思いやりの心から生まれた保障

県民共済

お問い合わせと資料のご請求は

共済取扱団体 福島県認可 **福島県民共済生活協同組合**

〒960-8031 福島市栄町6-6 NBFユニックスビル9F

☎ **0120-282-869**FAX **024(524)1400**

【受付時間】平日 9:00~17:00

福島県民共済 検索

共済元受団体/厚生労働省認可 全国生活協同組合連合会